

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	リエゾン清澄白河		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 8日		～ 2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	62	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2024年 10月 15日		～ 2024年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日		～ 年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)		(回答数)
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スモールグループで運動系のレッスンを提供する療育施設である	スモールグループでレッスンを提供することで、1人1人のお子様と密に関わりながら支援を行うことができている。 また、運動系のレッスンの中で、身体の動かし方だけでなく、ルール理解やコミュニケーション能力を伸ばして行くことができるように支援している。	お子様の得意不得意や好き嫌いにも注目しながら、よりいっそう楽しみながら学ぶことができるレッスンメニューやサポートの方法を模索していく。
2	多種多様なレッスンメニューに取り組んでいる	1か月毎に大きなレッスンテーマを定め、月末にそのテーマに沿った難易度の高いメニュー(試合など)に取り組むことができるように、レッスンを提供している。 また、目標達成に向けてスモールステップで課題に取り組めるように促すことで、自己肯定感を育みながら練習を行うことができるように支援している。	今後も新しいメニューだけでなく、対象児が苦手とする部分を伸ばせるような定番メニューを取り入れながら、課題達成に向けて支援を行っていく。 また、季節感を意識したメニューも取り入れていく。
3	モニタリングルームを設置し、支援内容について保護者と連携を取りながら、支援を行っている	フィードバックの時間を設け、その日のレッスン内容について保護者様と話し合う場を作っている。 また、モニタリングルームには飲み物やご兄弟のお子様専用スペースを準備し、くつろぎながらモニタリングをしていただけるような環境を整えている。	事業所内のことだけでなく、ご家庭や他の施設(保育所、児童館、公園など)での様子も伺いながら、総合的に判断をして今後の支援内容を考えられるように意識していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外部施設との連携が不足している	他事業所のサービス内容を知る機会がなく、支援内容が事業所内で完結してしまっていることが考えられる。 また、相談支援事業所を利用していない(セルフプラン)利用者様も多く、連携を取れる場が少ない。	各関係機関の皆様と顔を合わせる機会を設け、その後も連絡を取り続けられるような関係値を作っていく。
2	文字の読み書きや巧緻性向上トレーニングなど運動やコミュニケーション以外のメニューの提供の場が難しい	スモールグループで行う運動系のレッスンを主としている為、個別で取り組むような机上での取り組みを行う場がないことが考えられる。	ゲーム性のある運動を行う中で、文字を読んでルール理解をしたりや摘まむ・めくるなどの指先を使った運動に取り組んだりするなど、文字の読み書きや巧緻性向上に繋がる要素を含んだ運動を増やしていく。
3			